聖書箇所:創世記7章1~8章5節
「神は、心に留めておられた」

【1】すべて主が命じられたとおりに

・当時の多くの人々にとっての大洪水

・ノアにとっての大洪水

—*「ノアは、すべて**主**が彼に命じられたとおりにした」*（創世記 7:5）。

—ノアは箱舟を造り*「義を宣べ伝えた」*(IIﾍﾟﾃﾛ 2:5)

【2】主の約束を信じ待ち望む

・神の宣告どおりに始まった洪水

—*「大いなる淵の源がことごとく裂け、天の水門が開かれた。」*（創 7:11b）

・天地創造における秩序の崩壊

—*「すべての肉なるものは…死に絶えた」*（創 7:21）。

—*「生めよ。増えよ。地に満ちよ。」*（創 1:28）は覆された

・古い世界の終わりと新しい世界の始まり

【3】神は、心に留めておられた

・箱舟に入るということ

—一度入れば自由に出入りできない

—ノアが箱舟に入っていた期間

・神は…覚えておられた

—単なる記憶ではない

—神の「覚える」には行動が伴う

●ソドム滅亡の時のロトの救い（創 19:29）

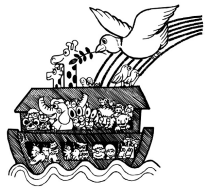
●不妊のラケルへの介入（創 30:22）

●奴隷となったイスラエルの解放（出ｴｼﾞﾌﾟﾄ 2:24）

・神に、心を留められた者として生きる

① 主のみことばに従って歩みましょう。

② 主の約束を信じ、待ち望みましょう。

③ 主に熱心に祈りましょう。

*「王は 軍勢の大きさでは救われない。勇者は 力の大きさでは救い出されない。軍馬も勝利の頼みにはならず 軍勢の大きさも救いにはならない。見よ **主**の目は主を恐れる者に注がれる。主の恵みを待ち望む者に。」*（詩篇 33:16-18）。